

# 平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果

京都市立西賀茂中学校

4月22日に、本校3年生224名を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとめました。本調査は、国語と数学の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

## 【総合結果（国語・数学）】

国語Bは京都市平均を若干下回って京都府平均並みでしたが、国語A・数学A・数学Bについては、京都市平均を若干上回っています。数値を見る限りでは、昨年度と同様に概ね良好な結果が得られました。

	国語A（知識）	国語B（活用）	数学A（知識）	数学B（活用）
全 国	79.4	51.0	67.4	59.8
京都府	79.4	51.3	67.7	60.1
京都市	80.0	51.9	67.6	60.5

## 【国語について】



国語Bにおいて京都市平均を若干下回った要因は、表現の技法（反復法・対句法・擬人法・倒置法）を問う問題で誤答が多かったことによります。

しかし、国語Bにおいて自分の考えを書く「記述式の問題」は2問ともたいへんよくできており、全国平均と比べてそれぞれ7.2～7.4ポイントも上回りました。今後も、自分の意見をまとめたり発表したりする活動を大切にしましょう。

## 【数学について】

概ね良好な結果が得られています。特に、数学A・Bともに「図形領域」および「関数領域」の問題では、全国平均をそれぞれ1.5～2.7ポイント、1.2～4.4ポイント上回っています。

しかし、「資料活用領域」の問題に少し課題があります。具体的には、「度数分布」「ヒストグラム」「確率」などの問題において、全国平均と比べて3.9～8.0ポイントも下回っています。

特に、「確率」の問題については家庭学習などでしっかり復習しましょう。



## 【生徒質問紙調査より（1）】

Q 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか

Q 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか  
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

家庭学習の状況（%）		4時間以上	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間以下	全くしない	その他	無回答
平 日 (月～金)	西賀茂中	/	18.1	19.9	28.8	26.1	7.1	0.0	0.0
	全 国	/	10.4	24.7	32.8	26.3	5.7	0.0	0.1
学校休業日 (土・日)	西賀茂中	6.6	8.8	15.5	21.7	27.9	19.5	0.0	0.0
	全 国	5.2	11.7	23.4	27.1	21.2	11.3	0.0	0.1

「平日、1日3時間以上勉強する」「学校休業日に4時間以上勉強する」生徒の割合が、全国平均より上回っている一方で、「全くしない」と答えた生徒の割合も全国平均を上回っています。特に、「学校休業日には全く勉強しない」という生徒が19.5%もあり、全国平均の11.3%に比べて多く、「家庭学習を行う生徒」と「全くしない生徒」の学力に大きな影響を与えています。

## 【生徒質問紙調査より（2）】

- Q 普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか  
(コンピュータゲーム・携帯式のゲーム・携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)
- Q 普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

使用状況について（%）		4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間以下	全くしない 持っていない	その他	無回答
ゲーム (月～金)	西賀茂中	13.7	11.5	12.8	26.5	23.9	11.5	0.0	0.0
	全 国	11.0	9.3	15.1	21.0	26.7	16.8	0.0	0.1
携帯・スマホ (月～金)	西賀茂中	18.1	9.7	15.0	19.0	26.1	11.9	0.0	0.0
	全 国	11.0	8.8	12.9	15.0	28.5	23.5	0.3	0.1

携帯電話やスマートフォンの所持率はたいへん高く、全国平均を大きく上回っています。また、ゲームをしたり携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間も、1日「4時間以上」および「3時間以上4時間未満」の生徒の割合が、全国平均より上回っています。特に、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間が、1日「4時間以上」と「3時間以上4時間より少ない」の生徒の割合を合わせると 27.8 %となり、全国平均の 19.8 %に比べてもかなり多く、携帯電話やスマートフォンへの依存症が心配されます。ご家庭でも、お子たちの携帯電話やスマートフォンの使用状況について今一度見直していただく必要があるかもしれません。



## 【全体を通した本校の成果と課題】

本校では、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という方針のもと、学力向上の取組に関しては、校下の小学校と合同研修会を行うなど、全校調査やジョイントプログラム等の学力情報を共有して、日々の指導方法の改善や、個に合った指導に努めてきました。

生徒も、自らのテスト結果等の成績を振り返り、弱点を補充プリントで繰り返し学習したり、自らの進路の実現に向けて進んで調べ学習をするなど、学校全体として概ね良好な結果が得られました。

しかし、生徒質問紙結果（1）でも示したように、平日や学校休業日に「予習や復習などの家庭学習を行う生徒」と「全くしない」生徒の学力には大きな差があります。特に、本校では「学校休業日には全く勉強しない」という生徒が 19.5 %おり、全国平均の 11.3 %に比べて多く、ここを大きな課題とらえています。

学校として、ある程度の宿題を家庭学習として課すことは必要なことだと思いますが、家庭学習のすべてを宿題に頼ることについては問題があると考えております。生徒一人一人の学習到達度も違いますし、中学校卒業後の目指す進路も多岐に分かれています。やはり、自分の課題をしっかりと把握して、今の自分にとって必要な学習に取り組むこと、いわゆる「自学自習」ができるように努力していかなければなりませんと思います。

社会に出た時には、必ず「自学自習」が必要になります。社会人の仕事のほぼすべてが「自学自習」を必要としています。自分で考えて、行動し、失敗して、改善して、また新たに取り組んでいく人を社会は求めています。学校もご家庭でも、このことを意識して取り組んでいきたいと思います。

## 【保護者の皆様へ】

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いたします。